

中学年 目指す児童像

互いの考えを交流し合う中で、良さや違いに気付く児童

単元名 「あいの秘密を探り リーフレットにまとめて感想を伝え合おう」

教材名 「あいの行列」(光村図書出版)

めあて 接続語やキーワードに着目して、あいの動きをリーフレットにまとめることができる。

「あいの行列」という説明文を教材として、「何が」「どのように」書かれているかを読み取り、自分の考えをもつことを目指し、学習を進めてきました。説明文を読む学習として、はじめの問いに対する答えを探るために実験の内容を読み取る活動をしました。活動は、文章にサイドラインを引くだけでなく、グループで、文章の内容を再現したり、ホワイトボードを活用してありに見立てた磁石を操作したりして、実験の内容を確認しました。

研究授業では、「すると」や「ようやく」のような時間の順序が分かる言葉に注目し、あいの動きをグループで磁石を操作して、ホワイトボードに表しました。その後、リーフレットに個人でまとめ、最後にありになりきって動きました。目に見える形で実験によるあいの動きを確かめたことによって、子供たちは楽しみながら、実験の内容を読み取れたようです。

成果

- ホワイトボードの活用により、読み取りが苦手な子供でもあいの動きを理解できた。

課題

- 子供一人一人の感想の良さや違いがみられなかったので、一時間一時間の中で、交流を活発にする手だてを設定する。